

第46期 報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで



株主の皆様へ

代表取締役社長

吉村 彰博



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

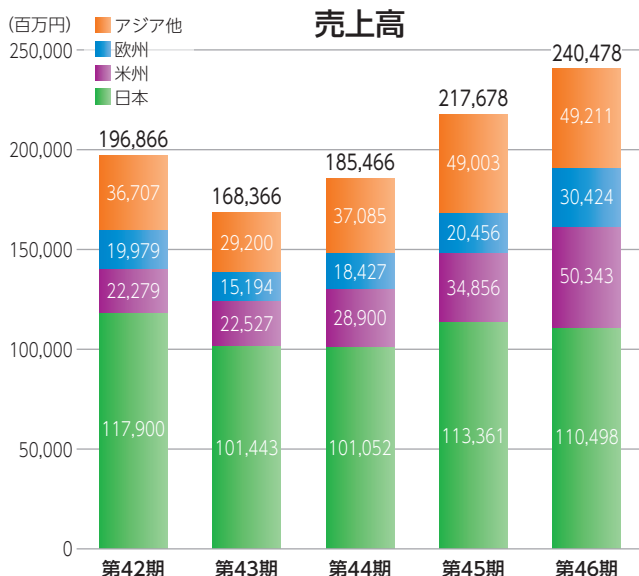
当期においては、中国をはじめとする新興国で経済成長が鈍化した一方、欧米を中心とした先進国がけん引役となり世界経済は緩やかな回復が続きました。当社においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めました。また、輸送用機器関連事業のさらなる拡大を目的として、当社グループは2015年8月31日にアメリカの自動車部品メーカーであるTRW Automotive Inc.（現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業）から欧州及び北米のL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受け、THK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA) として4社を連結対象としました。これらに加え、為替が前期に比べて円安で推移したことなどから、連結売上高は前期比10.5%増の2,404億円となりました。利益面では、売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めましたが、将来の成長に向け

た投資に伴う固定費の増加や事業譲受に伴う取得関連費用の発生などにより、営業利益は前期比18.4%減の231億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比40.2%減の135億円となりました。

当社を取り巻く環境を見ると、外部環境に不透明感が強まる一方、IoTの進展によりビジネスチャンスは拡大しております。そのような中、基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」という2軸に加えて、新たな成長戦略として「ビジネススタイルの変革」を追加し、事業領域のさらなる拡大を図っております。今後の需要の回復局面において着実に売上高の増加につなげるとともに、工場におけるロボット化・自動化の推進などを通じた生産性の向上により収益性を向上させ、さらなる成長を成し遂げ、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト



※地域別売上高は海外売上高ベースです。

日本 3%減

積極的な営業活動を展開するとともに、免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めましたが、スマートフォンなどに関わる投資にけん引されていた小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少したことなどにより、減収となりました。

欧州 49%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、航空機や鉄道車両、家財、宇宙防衛関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開したことにより、工作機械向けなどにおいて売上高を増加させることができました。さらに欧州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

米州 44%増

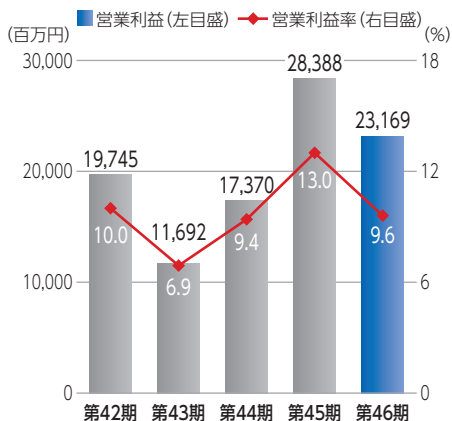
製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めたことにより、一般機械や輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができました。さらに米州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

アジア他 0.4%増

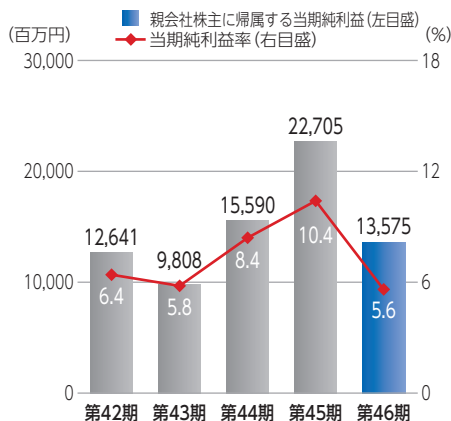
一部地域で中国の経済成長の鈍化の影響を受けましたが、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開したことなどにより、増収となりました。

※各地域の増減率は前期比です。

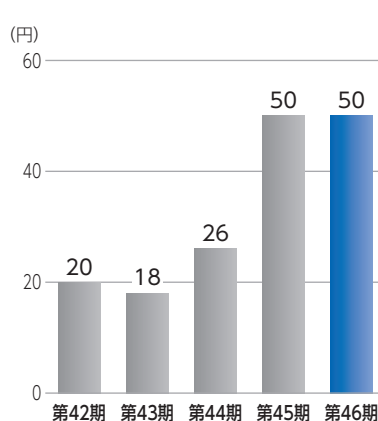
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



配当金

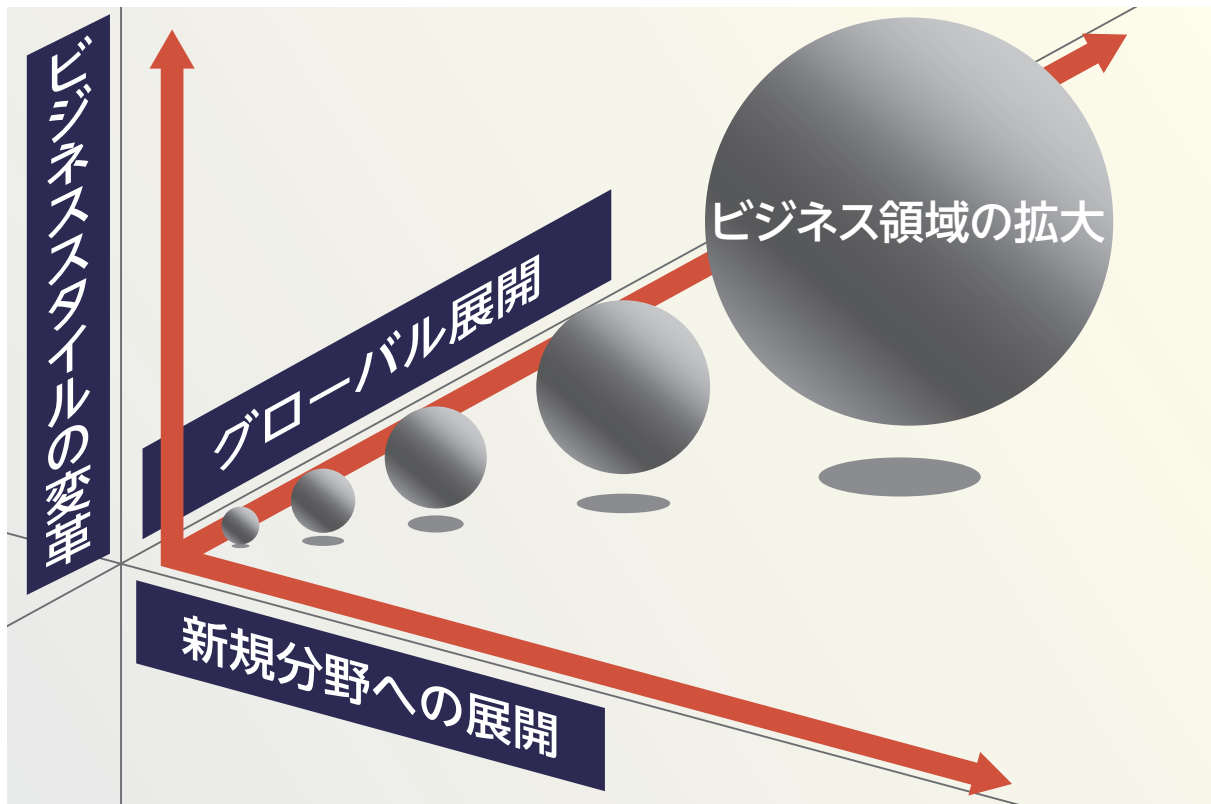


中期経営計画（2014年度～2016年度）と新成長戦略について

THKは、2016年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画の達成に向けて各種施策を実施してきました。これまでの取り組みにより成長の基盤を着実に構築してきましたが、計画の前提条件と比べると、THK RHYTHM AUTOMOTIVEのグループ化といったプラス要因があった一方、世界経済の成長率は想定より鈍化するなど、計画発表時の想定との乖離が生じています。これらを踏まえ社内的に中期経営計画の見直しを実施していますが、IoTの進展により当社のビジネスチャンスが拡大する一方で外部環境が不透明となる中、対外的には今後の取り組

み内容のみを開示しています。

新たな経営計画を検討する中、基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」を推進していくことに加え、新たな戦略軸として「ビジネススタイルの変革」を追加しました。IoT、クラウド、AI、ロボットを徹底的に活用することにより、「誰に」「何を」「どこで」「どのように」売っていくかという、ビジネスの進め方や仕組みを変革させ、事業領域のさらなる拡大を図っていきます。

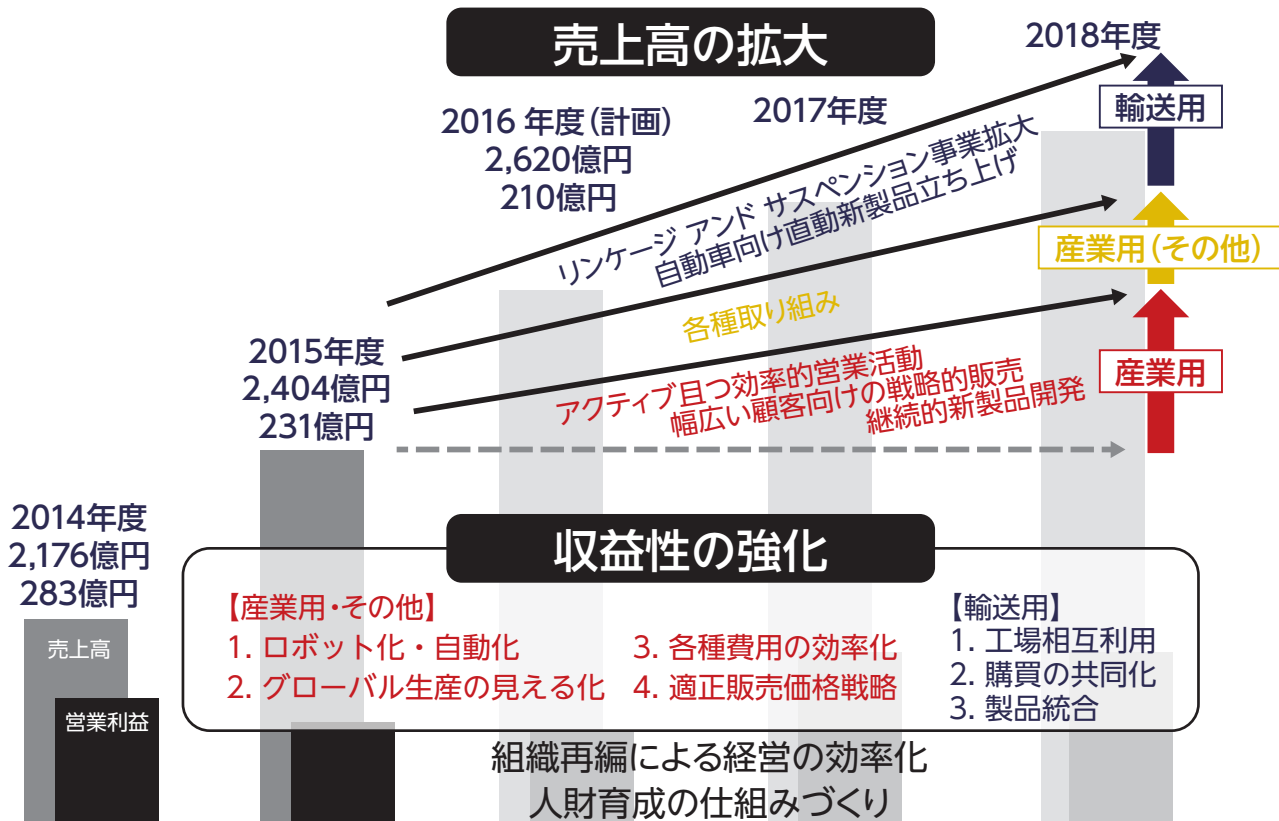


今後の取り組みについて

新たな成長戦略のもと、「産業用」、「産業用（その他）」、「輸送用」のそれぞれの事業において、これまでの取り組みにより構築してきた成長基盤を活かし、さらなる売上高の拡大に努めていきます。加えて、収益性を強化すべく、工場におけるロボット化・自動化の推進などを通じた生産性の向上や各種費用の

効率化を図っていきます。

さらに、これらの施策を着実に実施すべく、グローバル規模での組織再編による経営の効率化や人材育成の仕組みづくりをダイナミックに実施していきます。

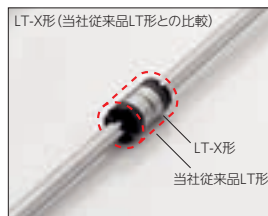


New Products

■コンパクトボールスプライン LT-X(XL)/LF-X(XL)形



「LT-X(XL)/LF-X(XL)形」はボール循環経路を改良し、コンパクトなナット形状と高速かつ滑らかな動作を実現したボールスプラインです。半導体分野を中心に装置のコンパクト化・高速化に貢献します。



■ロボットハンド TRX™



「TRX」は人の手の形状をシンプルに再現し、様々な大きさの対象物をつかむことが可能なコントローラドライバー一体型の汎用グリップパーです。

ロボットハンド内に指、アクチュエータ、コントローラドライバーのすべてを纏めることにより、シンプルな構成を実現しました。

THKは宇宙航空研究開発機構（JAXA）とロボットハンドに関する共同研究を行い、2012年には宇宙空間で動いた世界初のロボットハンドを供給しました。

その後も独自に開発を進め、小型・高出力の直動アクチュエータや制御技術のノウハウを培い、これらの技術を実用化したものが、ロボットハンド TRXです。

■電動アクチュエータ クリーンシリーズ CKSF



「CKSF」は半導体製造や食品加工に不可欠なクリーンルームに最適な電動アクチュエータです。

新たに開発したフルカバー構造により、発塵しにくい構造となっています。加えて、コンパクトシリーズ KSFをベースにしており、コンパクト・高速・ロングストロークも実現しました。

中部テクニカルサポート新設・豊田支店リニューアルオープン

THKは2016年3月に豊田支店をリニューアルオープンし、支店内に自社製品を展示したショールームと技術者が常駐する中部テクニカルサポートを開設いたしました。

ショールームでは、LMガイドやボールねじ、電動アクチュエータなど当社の主力製品やデモ機を展示しております。加えて、当社のグループ会社であるTHKインテックス株式会社が取り扱う双腕型産業用ロボット「NEXTAGE®」も展示しております。

その他、社屋に設置されている当社の免震装置を見学いただくことも可能です。当社の製品を実際に見て、触れていた

だけ、個々のお客様に合ったご要望にお応えしてまいります。

中部テクニカルサポートでは、常駐する専門の技術スタッフが、お客様からの問い合わせに直接対応するほか、併設の実験室ではお客様が持ち込んだ製品の実機テストを行うことが可能です。

自動車関連企業が集中する中部地方で、販売だけでなく技術支援や実製品の展示を一箇所で、サービスのワンストップ化を図ることで、総合サービスの拠点として新規顧客の開拓と販売増に努めてまいります。

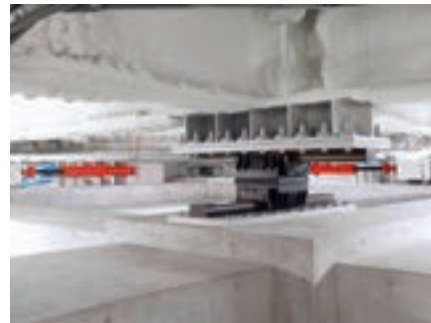
ショールーム内観



ショールーム内観



社屋に設置されている免震装置



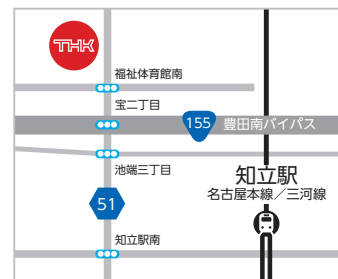
THK株式会社 豊田支店

所在地：愛知県知立市宝3丁目5番地19号

名鉄「知立駅」より徒歩15分

JR「刈谷駅」よりタクシーで15分

ショールーム営業時間：10：00～17：00

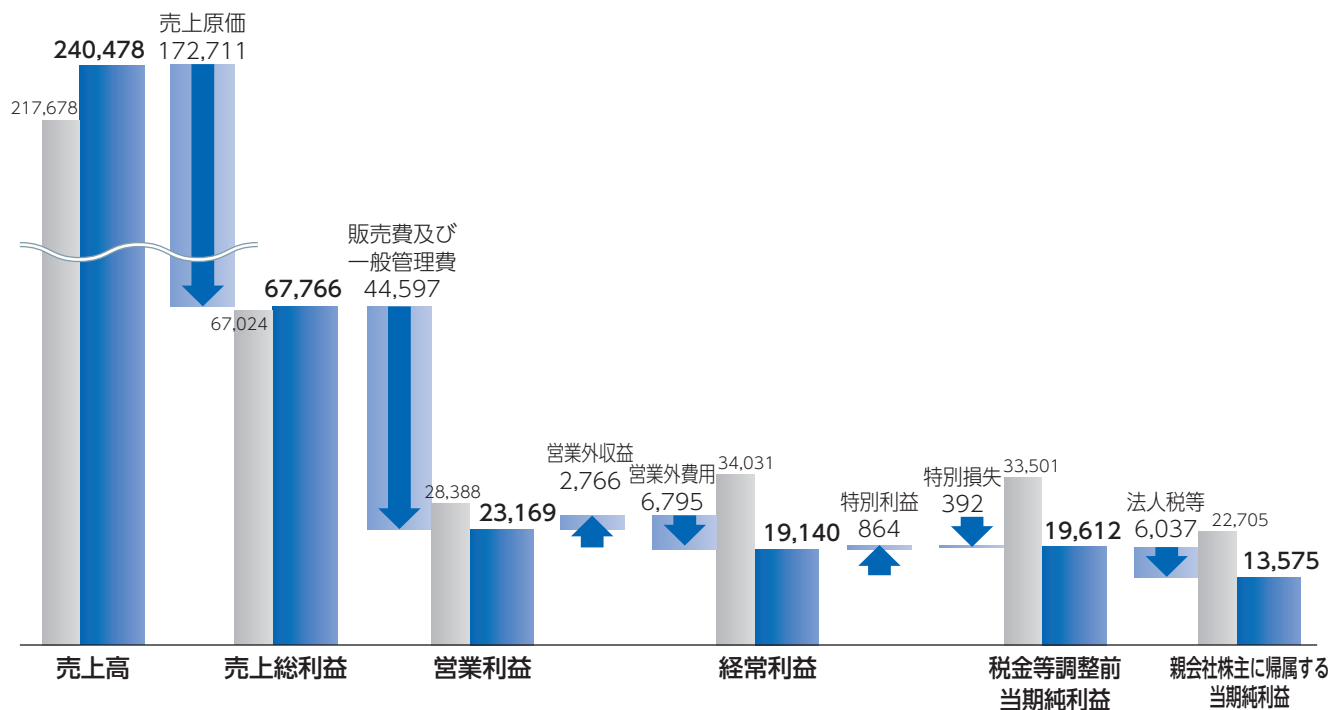


連結財務諸表 (要旨)

連結損益計算書

■ 当期 (2015年4月1日～2016年3月31日)
 ■ 前期 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位：百万円)



売上高

国内では小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少し、海外でもアジアを中心に需要は減少しましたが、THK RHYTHM AUTOMOTIVE 4社を連結対象としたことなどにより、連結売上高は前期に比べて227億円（10.5%）増加し2,404億円となりました。

営業利益

売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めた一方、将来の成長に向けた投資に伴う固定費の増加や、事業譲受に伴う取得関連費用の発生などにより、営業利益は前期に比べて52億円（18.4%）減少し231億円となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

営業外損益では、営業外収益は、持分法による投資利益が6億円となったことに加え、受取利息が4億円となったことなどにより、27億円となりました。営業外費用は、為替差損が57億円となったことに加え、支払利息が4億円となったことなどにより、67億円となりました。

これらの結果、経常利益は前期に比べて148億円（43.8%）減少し191億円、親会社株主に帰属する当期純利益は91億円（40.2%）減少し135億円となりました。

■連結貸借対照表

当期末 (2016年3月31日現在)

(単位：百万円)

流動資産		総資産		負債	
流動資産は、前期末に比べ115億円減少し、2,488億円となりました。売上高の増加に伴い売上債権が80億円増加し、たな卸資産も62億円増加した一方で、現金及び預金が事業譲受に伴う支出などにより282億円減少しました。	現金及び預金 126,964 -28,275	総資産 407,808 前期比 +34,197	流動負債 59,572 -598	流動負債	負債
	売上債権 71,500 +8,050	流動資産 248,858 前期比 -11,555	固定負債 97,695 +34,755	固定負債	前期比
	たな卸資産 39,242 +6,267	有形固定資産 109,428 +11,695	親会社株主に 帰属する 当期純利益 13,575	親会社株主に 帰属する 当期純利益	+34,156
		無形固定資産 36,468 +32,066	為替換算 調整勘定 17,759 -5,181	為替換算 調整勘定	純資産
固定資産		固定資産 158,950 前期比 +45,753	配当金の 支払い -6,953	配当金の 支払い	250,540 前期比 +41
固定資産は、前期末に比べ457億円増加し1,589億円となりました。設備投資などにより有形固定資産が116億円増加したことに加え、事業譲受などにより無形固定資産は320億円増加しました。	投資その他の 資産 13,052 +1,990				

負債

負債は、前期末に比べ341億円増加し、1,572億円となりました。長期借入金が202億円増加したことに加え、仕入債務が71億円増加したことが主な要因です。

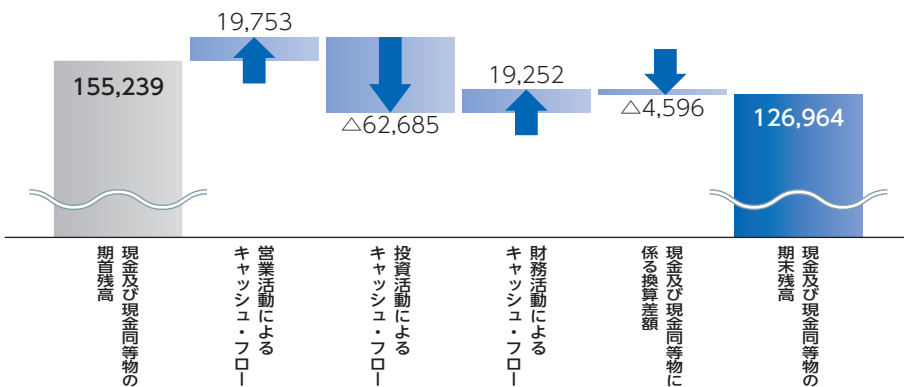
純資産

純資産は、前期末に比べほぼ横ばいの、2,505億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益が135億円となった一方で、配当金の支払いが69億円となったことに加え、為替換算調整勘定が前期末に比べて51億円のマイナスになったことが主な要因です。

■連結キャッシュ・フロー計算書

当期 (2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益196億円、減価償却費136億円、たな卸資産の増加33億円、法人税等の支払額131億円などにより、197億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に事業譲受に伴う支出や固定資産の取得などにより、626億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に社債発行や長期借入れに伴う収入により192億円のキャッシュ・インとなりました。

そのほか、換算差額により、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて282億円減少し、1,269億円となりました。

さまざまな分野で採用されているTHKの免震装置

世の中の災害対策への意識が急速に高まる中、免震装置の需要は中長期的に増加していくものと考えられます。地震の揺れによる災害から企業の重要な資産を守るため、THKは建物免震の分野だけでなく、機器免震分野への取り組みも行ってまいりますので、ご紹介いたします。

2015年12月、THKはシュナイダーエレクトリック株式会社と協業し、同社が販売するサーバー用のラックや空調機等と当社の免震装置のセット販売を開始いたしました。機器免震とは、床とサーバーなどの搭載物の間に設置することで搭載物を床から切り離し、地震の揺れを直接伝えない構造です。建物免震に比べ、大幅にコストを抑えられ、短期間で簡単に導入することが可能です。日本は世界有数の「地震国」であり、ITシステムにも災害対策が求められています。今回の協業により、さらに多くのお客様に当社製品を導入いただくことで、震災への備えを強化し、被害の減少に繋がるよう努めてまいります。



2016年5月、THK免震体験車をリニューアルし、運用を開始いたしました。THK免震体験車では、地震の揺れを再現するだけでなく、免震装置の有無で地震の揺れがどの程度低減されるのかを実際に体感いただけます。これにより、THKの免震装置の普及拡大を図るとともに、防災対策の意識付け強化に貢献してまいります。



THKの免震装置は、博物館や美術館など多くの場所で採用されています。東京国立博物館で行われた国宝土偶「縄文の女神」の特別公開（3月23日～4月17日）では、展示ケースにTHKの機器免震装置が採用されました。

会社の概要 (2016年3月31日現在)

■会社概要

商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年 (昭和46年) 4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,386名 (THKグループ11,754名)
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	http://www.thk.com/
会計監査人	太陽有限責任監査法人

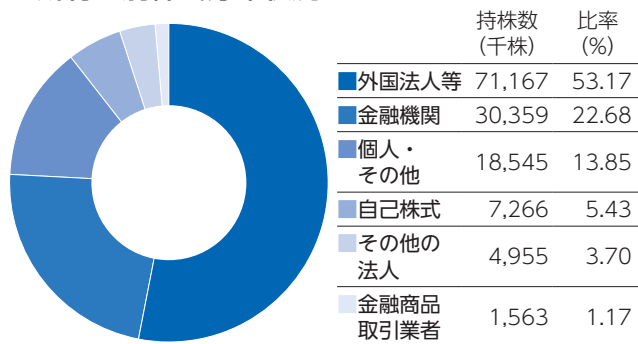
■役員 (2016年6月18日現在)

代表取締役社長	寺町彰博
取締役副社長	寺町俊博
取締役副社長	今野宏
取締役兼専務執行役員	榎信之
取締役兼専務執行役員	寺町崇史
取締役兼常務執行役員	下牧純二
取締役	坂井淳一
取締役(社外)	甲斐莊正晃
取締役(社外) 監査等委員	日置政克
取締役(社外) 監査等委員	大村富俊
取締役(社外) 監査等委員	上田良樹

■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	20,154名

■所有者別株式分布状況



■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,385	4.77
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,009	2.99
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,941	2.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,901	2.91
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	3,854	2.87
寺町 彰博	3,647	2.72
エフティシー株式会社	2,774	2.07
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE - SSD00	2,397	1.79
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR JAPAN VALUE EQUITY CONCENTRATED FUND A SERIES OF 620135	2,115	1.58
THE BANK OF NEW YORK 132812	2,063	1.54

※上記のほか、当社が所有している自己株式7,266千株 (5.42%) があります。

■株主メモ

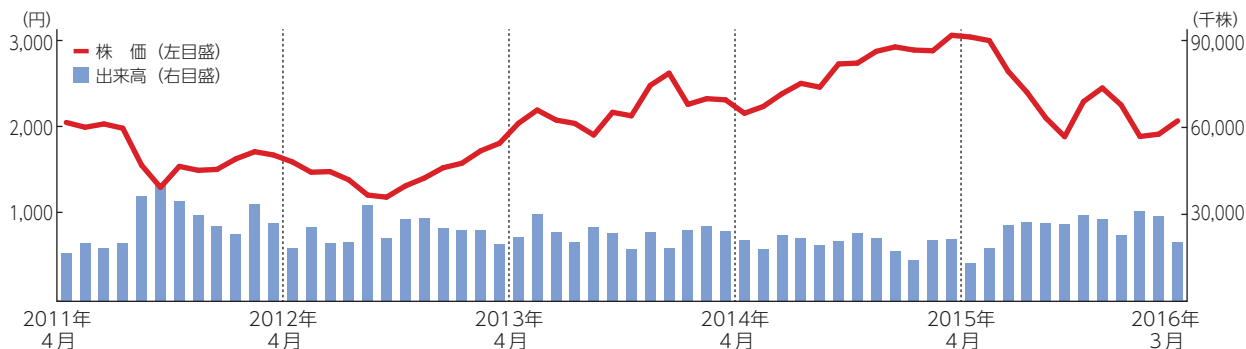
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載 して行います。 http://www.thk.com/jp/ir/

株式に関するお手続きのご案内

<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ ● 株式事務に関する一般的なお知らせ 	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)</p> <p>※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/ からのダウンロード</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 上記以外のお手続き、ご照会等 	<p>□座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。</p>

■株価の推移 (2011年4月1日～2016年3月31日)



■IR情報サイトのご紹介

THKは、ホームページ内「IR情報」をリニューアルしました。個人の投資家様が知りたい情報を集約したコンテンツ「個人投資家の皆様へ」を新たに作成するとともに、サイト構成を全体的に見直し、より見やすく、探しやすく、活用しやすくなる構成に変更しておりますので、ぜひご覧ください。

- ・「IR情報」のホームページアドレス <http://www.thk.com/jp/ir/>
- ・当社ホームページ 日本TOP ⇒ IR情報



見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



THK株式会社